目次

序章　1

1　いま、なぜ化粧教育なのか　2

2　現象学を応用した研究方法　9

第1章　化粧は日本の社会でどんな意味を担ってきたか　15

1　日本社会での化粧の意味　16

2　日本の伝統における子供の化粧　31

第2章 化粧に見られる美的価値基準の現在 43
1 児童・生徒の化粧と美意識 44
2 現在の化粧の美的価値基準とその来歴 58
第3章 美的価値基準はどうあるべきか 103
1 近現代型の美的価値基準「ファストビューティー」 104
2 「加齢が問題であること」の問題性 107
3 次世代の美的価値基準「スロービューティー」 112
4 「スロービューティー」は男性にとっても緊急課題 122

5 いまこそ児童・生徒に対する化粧教育の好機 125

第4章 問題解決策としての化粧教育 131

1 化粧教育の内容 133

2 化粧教育の効果 156

3 社会全体に向けた化粧教育 169

今後の研究に向けて 199

美は力——抑圧から支えに 205

あとがき 211